

科目名	ベーシックレッスン 1							年度	2026
英語科目名	Basic lesson 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 サウンドクリエイターコース 1年次	必/選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	西川進・南慶樹・河原レオ・BAN・丸木美花・ 大野元毅・柴 徳昭	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン 作家 ア レンジャー		

**【科目の目的】**

3種類の楽器について特徴や音色を理解し、楽曲制作に効果的に組み込むスキルを身につける。音を聞いて楽器の名称を識別でき、楽器の特性を生かしたアレンジが理解できるようになる。サウンドクリエイターとしての基礎力を養うためには、基礎レッスンや音楽全般に関する基礎知識の学習が必要なため、レベルに応じたトレーニングを実施し、各種オーディションやコンテストに向けての準備と進行方法を学び、実践する。

**【科目の概要】**

サウンドクリエイターとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。レベルにあわせたトレーニングを実施し、各種オーディションやコンテストを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。

**【到達目標】**

- A. 3種類の楽器の特徴や音色を把握し、楽曲制作に効果的に取り入れられるようになる。
- B. 音を聞いて3種類の楽器の名称がわかるようになる。
- C. 3種類の楽器の特性を活かしたアレンジが理解できる。

**【授業の注意点】**

この科目は開講曜日により担当教員が異なります。  
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	機能を考えた上ですべてのコード進行を自分で作成できる		講師の手を借りてコード進行を作成できる		到達目標Bについてさらなる努力が必要
到達目標 B	全てのメロディを一人で作成できる		講師の手を借りてメロディを作成できる		到達目標Bについてさらなる努力が必要
到達目標 C	適切なボリュームバランスを設定し、用途を言語化できる上でエフェクトを使うことができる		ボリュームバランスが取れるがエフェクトは掛け方が分からない。		到達目標Bについてさらなる努力が必要
到達目標 D	4rhythmアレンジができ、更に楽器を足したアレンジができる		4rhythmアレンジができる		到達目標Bについてさらなる努力が必要
到達目標 E	一人で1コーラスの楽曲を作成できる		講師の手を借りて1コーラスの楽曲を作成できる		到達目標Bについてさらなる努力が必要

**【教科書】**

授業内で使用する映像や動画。実演奏。

**【参考資料】**

特になし

**【成績の評価方法・評価基準】**

評価基準はルーブリック評価に基づき、学習した楽器のまとめを14、15回目にて授業内発表を行う。これを60%(知識のほかに感想・思考・自分の作品にどう活かせるかを発表させて評価する)授業後に提出するレポートや、主に学習に取り組む態度を評価し平常点40%とする。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ベーシックレッスン 1			年度	2026
英語表記		Basic lesson 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	レベルチェック	個々のレベルをチェック 自己紹介	1 プレゼンテーション	自分の考えを大勢の前で発表できるようになる	3	
			2 目標設定	やりたいことを言語化し、明確にすることができる		
			3 ゼミのクラス決め	作りたい曲にあった講師を見定められる		
2	基本操作①	PC、DAWの使い方	1 PCの使い方	PCのUIや操作方法について理解できる	3	
			2 DAWの立ち上げ方	作曲ソフトの立ち上げ方が理解できる		
			3 楽曲の保存の仕方	プロジェクトファイルをSSDに保存できるようになる		
3	基本操作②	DAWの基本操作	1 MIDIの打ち込み	リージョンを作り、MIDIを打ち込めるようになる	3	
			2 波形編集	オーディオデータの編集ができるようになる		
			3 インサート	エフェクトをトラックに差し込めるようになる		
4	課題曲①	楽曲の構成を理解する	1 メロのリズム	メロのリズムについて理解する	3	
			2 メロディ	メロディについて分析できるようになる		
			3 楽曲の構成	楽曲の使用楽器、コード進行を理解する		
5	課題曲①	ドラムの打ち込み	1 基本①	ドラムの部位について理解する	3	
			2 ビート①	基本となるビートを理解する		
			3 フィル①	セクション間のフィルについて理解する		
6	課題曲①	ベースの打ち込み	1 基本①	ベースの音域に関して理解する	3	
			2 奏法①	ベースの奏法に関して理解する		
			3 フレーズ①	ベースのフレーズについて理解できる		
7	課題曲①	ギターの打ち込み	1 基本①	ギターの音域に関して理解する	3	
			2 奏法①	ギターの奏法に関して理解する		
			3 フレーズ①	ギターのフレーズについて理解できる		
8	課題曲①	ピアノの打ち込み	1 基本①	ピアノの音域に関して理解する	3	
			2 奏法①	ピアノの奏法に関して理解する		
			3 フレーズ①	ピアノのフレーズについて理解できる		
9	課題曲②	楽曲の構成を理解する	1 メロのモチーフ	メロのモチーフについて理解する	3	
			2 アウフタクト	アウフタクトについて理解する		
			3 楽曲の構成	楽曲のジャンル、編曲を理解する		
10	課題曲②	ドラムの打ち込み	1 基本②	ドラムキットの音色について理解する	3	
			2 ビート②	基本となるビート理解する		
			3 フィル②	応用的なフィルについて理解する		
11	課題曲②	ベースの打ち込み	1 基本②	ベースの音色に関して理解する	3	
			2 奏法②	ベースの応用的な奏法に関して理解する		
			3 フレーズ②	ベースの応用的なフレーズについて理解できる		
12	課題曲②	ギターの打ち込み	1 基本②	ギターのエフェクトに関して理解する	3	
			2 奏法②	ギターの応用的な奏法に関して理解する		
			3 フレーズ②	ギターの応用的なフレーズについて理解できる		
13	課題曲②	ストリングスの打ち込み	1 基本②	ストリングスの音域に関して理解する	3	
			2 奏法②	ストリングスの奏法に関して理解する		
			3 フレーズ②	ストリングスのフレーズについて理解できる		
14	発表会準備	前期発表会に向けて楽曲を仕上げる	1 メロ、コード進行	メロとコード進行の整合性が取れる	3	
			2 ミックス	FX、ボリュームバランスについて調整ができる		
			3 アレンジ	各楽器のアレンジができる		
15	前期発表会	前期で作った楽曲の発表 (1コーラス)	1 プレゼンテーション	自分の楽曲について説明ができる	3	
			2 知識、技術	各授業で得た知識、技術を楽曲に活かすことができる		
			3 講師評価	講師からの評価で新たな知見を得ることができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等